

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 **ぎふワールド・ローズガーデン維持管理費（指定管理者分）**

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

都市建築部都市公園課 ぎふワールド・ローズガーデン企画推進室 企画推進係

電話番号：058-272-1111(内4914)

E-mail：c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **228,043 千円**（前年度予算額：**201,630 千円**）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	201,630	960	0	318	0	0	0	0	200,352
要求額	228,043	0	0	372	0	0	0	0	227,671
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

①経緯

平成15年9月に地方自治法の一部を改正する法律が施行され、公の施設の管理運営について、指定管理者制度が創設された。

ぎふワールド・ローズガーデンについても、民間の経営ノウハウの活用による利用者サービスの向上と経費の節減を図るため、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

②現状

指定管理者：ぎふWRGマネジメントグループ

第1期 平成18年4月1日～平成21年3月31日（3年間）

（財）花の都ぎふ花と緑の推進センター

第2期 平成21年4月1日～平成23年3月31日（2年間）

（財）花の都ぎふ花と緑の推進センター

第3期 平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）

ぎふWRGマネジメントグループ

第4期 平成28年4月1日～令和5年3月31日（7年間）

（指定期間を7年とした理由）

指定期間の延長により、指定管理者の公園への投資を促し、さらなる公園の活性化を図るため。

③目的

指定管理者制度の導入により、最小のコストで最大のサービスが提供できるよう経費節減を図り、適切な県営公園の管理運営を行う。

(2) 事業内容

①既定額	228,043千円
・指定管理料	228,043千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県(227,671千円) 設置許可等収入(372千円)

(4) 類似事業の有無

有

【類似事業】

- ・養老公園維持管理費(指定管理者分)
- ・百年公園維持管理費(指定管理者分)
- ・各務原公園維持管理費(指定管理者分)
- ・世界淡水魚園維持管理費(指定管理者分)
- ・ぎふ清流里山公園維持管理費(指定管理者分)

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	228,043	公園の管理運営業務にかかる指定管理料の支払い
合計	228,043	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

快適かつ安全な公園管理のため、継続的に費用の確保が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
都市公園の適正な管理運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
入園者数	347千人	363千人	400千人	410千人	540千人	67.2%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 (1) 春秋のバラ開花期間において、バラ本来の魅力を楽しめる公園管理を実施。 (2) 全国のバラ園やバラ業界との連携により、情報交換会を開催し、新品種の販売や地植えの展示を実施。
	指標① 目標：379,000人 実績：279,348人 達成率：73.7%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 (1) バラを中心に一年を通した花の魅力づくり 秋には赤と黄色の鮮やかなケイトウを植栽し、新たな見どころとして人気を集めた。 (2) オープンスペースの活用 来園者のソーシャルディスタンスに対応したパラソルテーブルやベンチを設置した。
	指標① 目標：492,000人 実績：363,700人 達成率：73.9%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	都市公園を管理運営することについては、県民のレクリエーションの空間となるほか、都市景観の形成、都市環境の改善、豊かな地域づくりに資する交流の空間など多様な機能を提供するため、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	都市公園の適正な管理を概ね期待どおり実施している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	民間のノウハウを活用し、経費の節減を図りつつ、利用者サービスの向上に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 公園施設の老朽化に伴う維持管理費の増加

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民、運営協働会議、県営公園指定管理者評価員会議等の意見を公園の管理運営に反映させ、指定管理者とともに、利用しやすく、サービスが充実した都市公園となるよう引き続き取り組んでいく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	